

わたしたちの町

人口(男).....4,505人
(女).....4,831人
計.....9,336人
8月中の転入.....22人
転出.....14人
世帯数.....2,305帯

(8月末日住民登録人口調べ)



おじいちゃん、おばあちゃん
げんきにながいきしてください

保育園児もお祝い

町の敬老会は九月四日、町民体育館で開かれました。七十五才以上の対象者六百三十六名のうち三百七十五名が参加。参加者を代表して永井多一さん(上杉)が「経験と特色をいかして、これからはがんばります」とお礼のあいさつを行いました。
合川町マンドリンクラブの皆さんと、町内四保育園の年長組の皆さんがお祝いの演奏発表。保育園児は一人ひとりに「ながいきしてください」と肩をたたきのプレゼントを行いました。
お祝いの座ぶとんにすわって、参加者はみんなニコニコ顔。お酒をくみ交わし、「また来年も来ます」と誓い合っていました。

町敬老会

県営生活環境保全林事業に着工

一般 会計 決算七千四百万円余の黒字

9月議会

町議会九月定例会は十七日から開会。冒頭で町長が行政報告を行いました。

町長の行政報告(概要)

稲作は梅雨期の多雨と日照不足の影響を受けたものの、七月下旬以降の好天によって、昨年に続く豊作が期待されていますが、九月以降の豪雨により倒伏面積が増えており、今後の天候が心配です。
大野台国営農用地開発事業については、部落代表者会議による説明会、農業団体との話し合い、国・県・鷹巣町・森吉町・当町による推進会議を開き、町内二十一集落で部落役員会等との説明会、協議会を終了しています。この中で、開発を希望すると思われる十五集落で部落座談会等を行い、地権者の賛同を得ながら国の指定を目指しています。
県営の生活環境保全林事業では、蟹沢山周辺の当町地区で六十年度から三カ年計画、約二億円の事業に着工されています。指定区域三十八ヘクタールを保安林と設定。事業費の町負担はなく、自然林の造成と改良を主体に、遊歩道、樹木展示帯、キャンプ場などが造られます。桜、イタヤ、カエデ、モクレンなど約一万余本が植栽されます。

昭和五十八年、県では「老人福祉総合エリア」の建設を三つのタイプに選定して発表しました。大野台の里には、入所者の実情と立地環境から、地域に在宅している障害者も含んだ、老人福祉についての将来構想があります。この地元構想を県に提示し、この実現を図るため、県との事前協議により「老人福祉エリア」建設協議会を設置します。その構成は秋田県四人、合川町三人、大野台の里二人、郡医師会一人の計十人の予定です。
松ヶ丘団地は造成工事、水道工事、下水道管工事、連絡道路の工事が進んでいます。分譲は、区画数二百五十六区画のうち九月十日までに百四十二区画の申し込み。当初予定より順調な状況で、さらに今後の売り渡しの推進を積極的に進めます。

合川南小学校津波殉難による裁判では、原告側から和解条件が提示されました。町側では、この条件には応ずることとはできず、裁判所からの独自の和解案が示されれば町議会と協議、弁護士との相談により慎重に対処します。
地方行政改革については、七月に町長を本部長に「行政改革推進本部」を設置。さらに行革推進の必要事項を調査する機関として民間有識者十名による「行政改革懇談会」を設置し、協議が行われました。今後、早期に町の「行政改革大綱」の成案を策定する予定です。鷹角線対策については、八月二十九日から三日間にわたり運輸審議官が鷹角線の現地調査を行い、その答申

を受けて運輸省は秋田内陸縦貫鉄道(株)に地方鉄道業の免許を交付しました。これにより五十二年から中止されていた鷹角線的全線開通工事が鉄道建設公団によって行われる見通しになりました。
広域ゴミ処理施設は加入意志を示していた二ツ井、藤里両町は不参加の表明があり、鷹巣阿仁圏域町村の加入構成になります。今後、設置と運営などについて県の指導を受けながら、計画の素案を策定し、各町村の十二月定例会まで協議を整え、意志決定への準備を進めることにしています。
昭和五十九年度一般会計決算額は差引実算収支で七千四百五十四万九千九百九十一円の黒字。財政構造の弾力性を示す経常収支比率は八二・五%、公債比率は一四・七%となっており、これは県内市町村の平均的な数値であり、また類似団体との比較でも中位のところにあります。町財政の健全性が確保されているものと思えます。

町制施行三十周年記念行事は体育行事、文化行事を行ってまいりましたが、九月八日の記念式典は町民・町内外の来賓の参加参列のもと、盛大に行うことができました。町の功労者・記念作文入賞者の表彰に続いて「ふるさと讃歌」のびゆく合川の発表が行われました。世界的に有名な石井欽先生の作曲・指揮によるもので、合川町の今後を象徴し、ふるさとを見直し、町の将来に向かって記念すべき発表会でした。これからも記念植樹産業文化祭等の行事がありますが、関係者各位の協力に感謝申し上げ、合川町のますますの発展を希うものです。

歌声高らかに

町制三十周年の喜びに満ちて 施行

町制施行三十周年記念式典は九月八日、町民体育館で開かれました。式典にあわせて第八回健康まつりと第二十二回ことぶき大会を開催。小学生からお年寄りまでの幅広い世代が参画した式典は「ふるさと讃歌—伸びゆく合川—」の発表で、感動的な盛り上がりになりました。畠山町長は「三十年の歴史を築きあげた努力に感謝し、ふるさと讃歌を、子どもたちと未来を拓く歌にしよう。」とあいさつ。功労者の表彰、小中学生の記念作文の発表、表彰、お祝いの言葉が続きました。

メイン行事の「ふるさと讃歌—のびゆく合川—」を写真で特集します。



▲「永遠にあれ、讃えよふるさと……」あわせて758名の大楽曲。



▲右側いす席から町内小学校5、6年生が第一楽章「まと火のうた」から歌声。



▲作曲家石井歆氏の指揮でアンコールの第二楽章「合川町民歌」は参会者全員に歌声の輪が広がる。



▲合川中学校と合川高校の吹奏楽部員が合同でブラスバンドを編成。(写真=右、左) 合唱の中央にママさんコーラスの皆さん。(写真=中)

町長日記から

九月八日、町制三十周年の行事のなかのメインとなる式典の場で発表された「ふるさと讃歌—伸びゆく合川—」は石井歆先生の作曲によるもので、合唱とブラスによる楽曲である。第一楽章は、トランペットによる導入部から、小学生の「まと火のうた」そして全員による大コーラス「ふるさと讃歌」が、ブラスバンドとともに聴衆の心をうって、大きな感銘を与え、第二楽章は小、中、高校の校歌がアレンジされて、それぞれの学校

の思い出を呼び起し、最後に「町民歌」が全員の合唱によって、力強く盛り上がりつついく。

まさに、ふるさと合川町への愛情をこめて、二千人を集めた町民体育館は、興奮のつぼとなった。アンコールに、応えて二回の演奏と合唱は、共感の限りを尽した。血のにじむような猛練習の成果に、誰よりも感動したのは、ブラス奏者をはじめ、七百余名の生徒児童だったと思う。

このあと、町内外から好評の言葉をもらって、涙(なみだ)が出て仕様がなかった。(義)

ヤツホー

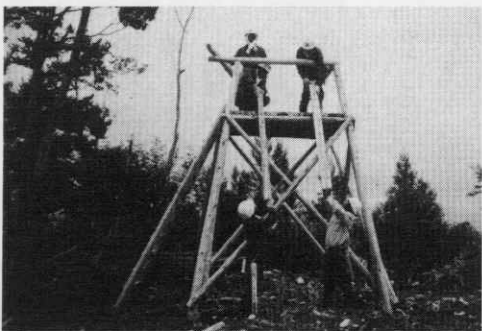
白津山に展望台が

できました

町の最高峰、白津山(四百四十三メートル)に、丸木造りの展望台が作られています。この展望台は国際森林年にちなんで、合川営林署で建設。

材料に間伐の小径丸太を利用して、職員の皆さんが手作り。高さ三メートルの展望台のほか、休み台、ベンチを設置して環境を整備することにしています。

白津山は二ツ井町に越える林道(春慶沢林道)から山頂まで歩いて三十分。尾根つたいに快適な散策が楽しめる。春秋の山菜の「宝庫」頂上からのすばらしい展望





大野台工業団地

お知らせコーナー

今月の納期

- 国民年金第2期
- 県町民税第2期

町のこよみ

- 9月 29日 日中友好青年交流団出発
- 10月 1日 大野台の里開設二十周年記念式典
- 10月 5日 国勢調査実施基準日

5日 合川ライオンズクラブ十周年記念式典

11日 町制施行三十周年記念植樹

13日 商工会法二十五周年記念式典

戦死者等の遺族に

弔慰金が出ます

◎支給される人 昭和六十年四月一日において、遺族年金等を受給している人のいない遺族で、子、兄弟姉妹など三親等以内の先順位者一人に支

国勢調査にご協力を

10月1日

全国いつせいに行われます

十月一日、全国一斉に五年に一度の国勢調査が行われます。

この調査は、単にわが国の人口を調査するというだけでなく調査の結果は、今後の行政の重要な基礎資料となります。

たとえば国から町に交付される地方交付税の交付金は人口が大きな要素になります。また国政選挙の定数は正でも、今回の国勢調査の結果が注目されています。職業別人口、年齢別人口

給されます。
▽内容 法改正により国が終戦四十年に当り改めて弔慰の意をあらわすもので、死亡者一人に三十万円が十年償還国債で交付されます。
▽請求 問い合わせ先 役場福祉課 三年以内に申請しないと時効になります。

国有林分収育林

(緑のオーナー)

募集について

合川営林署で先に募集した分収育林(二十七口)は多くの申し込みがあり、満口になって七月末に締め切られました。合川営林署では引き続き十月頃に次回募集を行う予定です。場所 羽根山沢国有林(春慶沢及び油川沢)の林道ぞい、林齢等 林齢三十年前後の秋

国民年金 制度の普及 月間です

十月・十一月は国民年金制度の普及推進月間です。国民年金法等の改正が今年四月に成立し、来年の四月からスタートすることになります。普及月間中、各地で新年金法についての展示相談などが行われます。

最低賃金が 変わります

変わります

十月十二日から秋田県最低賃金が次のとおり改正されます。
一日 三千一五五円
一時間 三九五円

母子手帳の手続 きが変わります

妊娠の届出に医師等の証明書はいらなくなりました。保健センターと役場保健課にある届出書に記入・押印して、保健センターに届出ると、母子手帳が交付されます。

Uターン情報の 活用を!!

Uターン技術者を求めている企業の求人情報を県・市町村で公開しています。県庁商工労働部職業安定課(〇一八八-六〇一-七四七)または役場総務課におたずねの上、情報を有効に活用ください。

お年寄りの 税の特典

年齢が六十五歳以上で所得が一千万円以下のお年寄りは、老年者控除として所得金額から二十五万円が差し引かれます。国民年金や厚生年金などの公的年金や恩給を受けている人は老年者年金特別控除として、これらの収入金額から七十八万円を差し引くことができます。

十月から 赤い羽根共同募金

「わかち合う幸せ」をスロガンに、十月一日から赤い羽根共同募金が始まります。皆さんの善意を、今年もよろしく願います。

第十回産業文化祭 ポスター・テーマを募集します

十一月九・十日に開かれる予定の第十回産業文化祭のポスターとテーマを募集します。多数の応募をお願いします。

協力ください 道路交通センサス

この調査は自動車所有者の中から五%程度の抽出者対象です。調査員が十月中旬に対象者を訪問しますので、協力ください。

自衛官募集中

申し込み・おたずねは自衛隊大館出張所(〇一八六一四二-一三九八)へ。

出かせぎ者 合同選考会

この冬、出かせぎを希望される人のための合同選考会が次のとおり開かれます。
日時 十月三日(木) 午前九時三十分~正午
場所 鷹巣中央公民館分館(旧鷹巣小学校)
参加事業所 関東地方、大阪、広島各事業所

違反建築防止週間

十月十一日 建築面積が十平方メートル以上の建物は、建築確認の許可が必要です。違反建築防止週間中は、建築基準法についての広報活動や、建築物パトロールなどが行われます。くわしくは役場建設課におたずねください。

行政書士試験

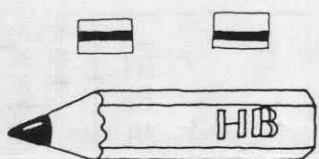
試験 十月二十七日・秋田市
申込 九月二十八日まで県庁地方課へ所定用紙で。

危険物取扱者試験 準備講習会

乙種 十一月二十一日・二十二日 日・大館市
丙種 十一月八・九日秋田市
申込み・問い合わせ 広域消防合川分署へ

戸じまのしつかり

十月十一日~二十日 全国防犯運動



黒鉛筆を使用 ※太く濃く

調査票はマークシート方式になっています

守られます

調査票は、マークシート方式といて調査票に印刷されている□に、黒鉛筆で○のようにわく内に太く、濃く、はっきりと横線で記入してください。

また、配布された調査票は、「光学式マーク読取装置」という機械で集計する関係上、調査員が回収にお伺いするまで、汚したり、折ったりしないで大切に保管願います。

秘密はしっかりと守られます

守られます

ちなみに、今回の調査で使用される調査票は合計五千万枚で積み上げると富士山の約二倍の高さになるそうです。

調査票に記入していただいた内容を、調査員や調査関係者がほかに漏らしたり、統計以外の目的に使用することは、法律によって固く禁じられていますので、個人や家庭の秘密はしっかりと守られます。

中学校選抜
テニス大会

おめでとー

藤嶋恵理子さん
関博子さん 全県優勝

八月三十一日、秋田市で開かれた第二十二回県中学校選抜新人軟式庭球大会で合川中学校藤嶋恵理子さん(駅前・宏さん長女) 関博子さん(梅栄・正美さん二女)チームが優勝しました。



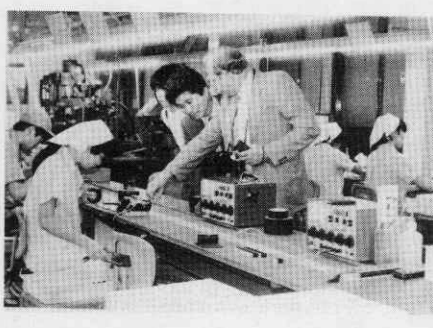
この大会は県内から三十二チームが代表に選抜されて出場。藤嶋・関チームは三回戦までをストレート勝ちで勝ち進み、準決勝と決勝は同じ八郎潟中学校チームと対戦。接戦を勝ち抜いて、見事な優勝を飾りました。

桜田助十郎監督はじめ、「一年生からの熱心な練習の成果」と大喜び。今年は県高校総合体育大会で合川高校が優勝しており、テニス関係者をわかせています。

写真笑顔を全県優勝の報告。前左関博子さん 前右藤嶋恵理子さん 右後桜田監督。

大野台工業団地に
外国企業の視察団

九月七日、大野台工業団地にアメリカ、イギリス、西ドイツの企業幹部七名が訪れました。これは大野台電機(株)との相互交流の中で、同社の生産体制を中心に視察訪問されたものです。



海外販路拡大と合併企業設立の進展の期待をうけて、真剣な視察。

納税組合の
アンケート

まとめ

町と町納税貯蓄組合連合会では、八月上旬にアンケート調査を行い、その結果をこのほどまとめました。アンケートの内容は一、あなたの納税組合は毎年総会を行い、会計報告していますか。二、納税組合の運営は適切ですか。三、納税組合を通じて納税することについて町への要望は？四、納税者からの町政への要望は？の四点。送付した千八百四十二通のうち回答が寄せられたのは四百五通。その結果、総会・会計報告をしている回答は八八%。運営が適切だと回答は八三%でした。三・四への回答はあわせて二百八十九件でした。

第16回学童
大会
九種目で大会新記録
プールサイドにわく歓声

町学童水泳大会は八月三十日、合川東小学校プールで開かれました。大会では二十四種目のうち九種目で、大会記録が更新されました。

- 百五十メートルレリー女子 ①東小・藤井麻美・疋田淳子 越高公子二分一八秒一五
- 大会新 ②南小 ③西小 同男子 ①西小・成田農 平川祐樹 木村正史 ②東小 ③西小
- 五〇メートル背泳五年女子 ①藤井麻美(東) 四六秒六〇
- 大会新 ②梅田和美(東) ③伊藤貴子(南) 同男子 ①米倉恒(東) 四九秒一八
- 大会新 ②藤島英人(北) ③関鉄也(東)

- 同六年女子 ①高橋真衣子(東) ②山岡加奈子(南) ③米倉るり(東) 同男子 ①成田農(西) ②杉測和紀(北) ③三浦衛(南) 五〇メートル平泳 五年女子 ①成田文子(西) ②疋田淳子(東) ③齊藤雅子(東) 同男子 ①杉測工(北) ②齊藤英幸(東)
- ③伊東享志(南) 同六年女子 ①金田陽子(西) ②平川由美子(西) ③藤嶋加代子(北) 同男子 ①福岡健(南) ②関 忍(東) ③永井英昭(東) 五〇メートル自由型五年女子 ①越高公子(東) 三八秒四六
- 大会新 ②片山久美子(北) ③関鉄也(東)

- (東) ③桜井由美子(東) 同男子 ①関鉄也(東) ②木村淳也(西) ③杉測工(北) 同六年女子 ①三浦千春(南) 三九秒三六
- 大会新 ②木村範子(西) ③高橋真衣子(東) 同男子 ①木村正史(西) ②福岡健(南) ③木村公一(西) 百メートル背泳 女子 ①藤井麻美(東) 一分四四秒四五
- 大会新 ②山岡加奈子(南) ③米沢牧子(東) 同男子 ①成田農(西) ②藤嶋英人(北) ③米倉拓郎(東) 百メートル平泳女子 ①平川由美子(西) ②疋田淳子(東) ③成田文子(西) 同男子 ①平川祐樹(西) ②永井英昭(東) ③畠山孝徳(北) 百メートル自由型女子 ①木村範子(西) 一分二九秒九一
- ②三浦千春(南) 以上大会

- 新記録 ③木村かおる(西) 同男子 ①木村正史(西) ②佐々木寛雄(北) ③木村淳也(西) 二百メートル自由型女子 ①齊藤麻衣子(西) ②松岡舞子(東) 同男子 ①佐々木寛雄(北) ②和田一善(東) ③成田仁(西) 二百メートル自由型女子 ①東小・米倉るり、高橋真衣子、片山久美子、越高公子二分四五秒五三
- 大会新 ②西小 ③南小 同男子 ①西小・木村公一、木村淳也、成田農、木村正史 ②南小 ③北小

善意のご寄付

〔香典返しにかえて〕

- 桜田助吉 東根田(故母ミエ) 小林士郎 道城(故兄 勇治) 藤田成次 川井(故母スエ) 工藤吉三郎 上杉 (故父 金治郎) 新田藤治 新田目(故妻フサ) 後藤 靖 下杉(故母 アン) 成田勇悦 鷹巣町(故母ツネ) 杉測勇起 増沢(故母トミエ) 三浦義一 三木田(故母フサエ) 木村嘉則 李岱 (故父宇一郎) 三浦順一 三木田(故母サト) 〔広報郵送料として〕 藤岡 博 神奈川県相模原市 鹿沼台一―二四―一二 平川本雄 東京都中野区本町 二―二―A二二

慶弔だより

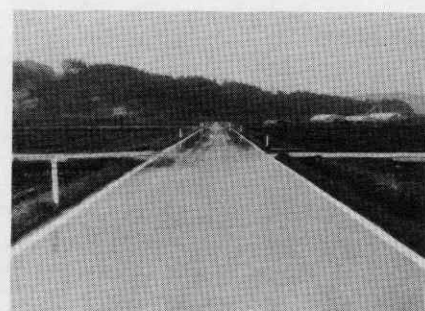
8月届

- お誕生おめでとーございます 桜田大志 博光長男 東根田 松井謙征 紀美男三男 美栄 鈴木 猛 勝雄長男 駅前 畠山 毅 敬一郎長男 李岱 杉測敬子 敬輝二女 杉山田 謹んでおくやみ申し上げます 八嶋竹雄 幸子 父 駅前 金田七郎 本人 西根田 工藤金治郎 本人 上杉 三浦サト 三太郎妻 三木田 後藤アン 靖 母 下杉 小林勇治 士郎 兄 道城 藤田スエ 成次養母 川井 山田幸男 本人 桃栄 新田フサ 藤治妻 新田目 田中賢一郎 本人 鎌沢 三浦フサエ 義一母 三木田 成田ツネ 本人 美栄 木村宇一郎 本人 李岱 杉測トミエ 本人 増沢

交通安全

危険です!! この場所でこんな事故が⑥

川井から木戸石にぬける町道は、区画整理された田んぼの中を、まっすぐに伸びる快適な舗装道路です。見通しも良く、つついすピードが出がち。しかし、農道と細かく交差しているため、たいへん危険です。町道・農道には速度標識がないところがあります。道路幅などから安全速度を厳しく心がける。安全運転義務があります。特にこれからの季節は、農業機械の運行や駐車が増えます。追突事故、追越しによる事故が心配されます。通勤、通学時は、バイク



事故 車と車の衝突

秋晴れ

晴天続きの八月が、九月の涼風とともに雨の日が多くなっています。「女心と秋の空」という言葉があります。最近「男心と秋の空」という言葉も聞かれます。秋の空は、変わりやすく不安定。収穫作業は「乾燥」が大切な要素です。で、秋空を見上げて、その日の天候を見極めて作業にとりかかるとなっています。統計的には、さわやかな秋晴れが多くなるのは晩秋のこと。「晴れの特異日」として知られる十一月三日の文化の日、この十年間に一回しか雨が降らなかったそうです。このほか、十月十六日、二十三日は晴れの多い日だそうです。ので行楽などの参考まで。(ただし、これは東京都の天気統計です。)ともあれ、秋晴れの下で安全に収穫作業を終えられるようお祈りします。

